

「第7回仏教章修得のための研修会」開催要項

1. 趣 旨 本願寺派スカウト指導者会のスローガン「仏教章を胸に」を体し、研修会を通じ仏教章修得に必要な知識・技能などを身につけると共に、真宗スカウトとしての自覚を促す。また、この機に友の輪を広げ、お互いの生き方を確かめ合い「ちかいとおきて」「やくそくとおきて」の理解と実践をより深め、心身共に豊かな聞法者を育成することを目的とする。
2. 期 日 2013 (平成25) 年3月28日(木)~3月31日(日) 3泊4日
3. 会 場 【研修】 浄土真宗本願寺派伝道本部(旧宗務総合庁舎)
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル TEL 075-371-5181
【宿泊】 本願寺聞法会館
〒600-8357 京都市下京区堀川通花屋町上ル TEL 075-342-1122
4. 参加資格 本願寺派仏教章修得を目指す中学2年生以上24歳以下(2013年3月28日時点)のスカウト
※ボーイスカウト隊所属のスカウトにおいては、1級以上に限る
なお、本研修会は、得度済みの方については対象外です。得度済みの方で仏教章修得を希望される方は事務局までご一報ください。
5. 募集人数 30名
6. 参加費 10,000円
7. 帰敬式冥加 受式者のみ 10,000円(成人) 5,000円(未成年)
※帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞^{しゅうそしんらんしょうにん おんまえ}聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則として本山で門主によって執り行われ、三^{さん}帰^{きえもん}依^い文^{ぶん}を唱えて、おかみそりを受け、法名^{ほうみょう}をいただきます。
8. 申込方法 参加願書に4センチ×3センチの上半身写真を添付のうえ、所定の事項を明記し、下記の書類を添え、現金書留にてお申込みください。なお、前日までに連絡がなく当日欠席された場合は、参加費の返金はできません。
【提出書類】①参加願書・推薦書
②「参加費」並びに「帰敬式冥加(受式者のみ)」
9. 申込先 本願寺派スカウト指導者会 宛
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派宗務所内
寺院活動支援部〈組織教化担当〉
TEL 075-371-5181(代表) FAX 075-351-1211
10. 締 切 2013(平成25)年3月8日(金) 必着
なお、締切前であっても、定員になり次第受付を締め切らせていただきますこと、予めご了承ください。

11. 許可通知 締切後、書類審査のうえ参加者を選定し、各自に「参加許可証」を送付いたします。
12. 持参品 念珠、式章（帰敬式受式済者）、参加許可証、健康状況書、スカウト聖典（本願寺出版社発行）、本願寺派スカウトハンドブック（本願寺出版社発行）、スカウトソング集（日本連盟発行のもの）、筆記用具、ソーイングセット、保険証（コピー可）、活動できる服装・靴、防寒具、寝巻き、雨具、雑巾（1枚）、その他研修に必要なもの
※スカウト聖典 840 円は「本願寺出版社」にて購入いただけますので、あらかじめご準備ください。
※ゲーム機、i-pod 等の音楽プレーヤー、お菓子、雑誌類は持ち込み禁止としますのでご了承ください。
※研修会中は、携帯電話の使用ができません（受付時にお預かりさせていただきます）。
13. 服装 正服・正帽 着用
※アクセサリー（ピアス、指輪等）は着用不可。つけてこられた場合は、外していただきます。
※記章の着用、身だしなみにつきましても、所属指導者の充分なる事前の指導をお願いいたします。
14. 集合解散場所 浄土真宗本願寺派伝道本部（旧宗務総合庁舎）

*留意事項

◎本研修会のみで仏教章は修得できません。研修会終了後、指導者（浄土真宗本願寺派僧侶）の指導のもと「3ヶ月間の家庭勤行の実践」「地域ならびに浄土真宗本願寺派寺院への奉仕」が必要となります。浄土真宗本願寺派以外の宗旨で本研修会を受講希望の方は、本研修会が浄土真宗本願寺派の門徒を育成したいとの願いのもと開催されますことを、ご理解のうえご参加ください。

◎研修会当日までに、スカウト聖典を読み「浄土真宗の生活信条」を必ず暗唱できるようにしておいてください。

「浄土真宗の生活信条」

- 一、み仏の誓いを信じ 尊いみ名をとえつつ 強く明るく生き抜きます
- 一、み仏の光をあおぎ 常にわが身をかえりみて 感謝のうちに励みます
- 一、み仏の教えにしたがい 正しい道を聞きわけて まことのみりをひろめます
- 一、み仏の恵みを喜び 互いにうやまい助けあい 社会のために尽します

※スカウト指導者会HPにこの要項を掲載しています。 <http://scout.hongwanji.or.jp/>

以上

第7回仏教章修得のための研修会 基本日程

時間	3月28日(木)		3月29日(金)		3月30日(土)		3月31日(日)	
5:30			起床・洗面・寝具整頓		起床・洗面・寝具整頓		起床・洗面・寝具整頓	
6:00								
6:30			晨朝参拝	阿弥陀堂 御影堂	晨朝参拝	阿弥陀堂 御影堂	晨朝参拝	阿弥陀堂 御影堂 書院
7:00			清掃奉仕	白洲	清掃奉仕	白洲	帰敬式 書院拝観	
7:30			朝 礼	門徒会館前	朝 礼	門徒会館前		
8:00								
8:30			朝食	聞法会館 地下 レストラン	朝食	聞法会館 地下 レストラン	朝食 チェックアウト・移動	聞法会館 地下 レストラン
9:00								
9:30							仏教行事	伝道本部 2階 研修室
10:00			積尊の伝記	伝道本部 2階 研修室	宗祖の伝記	伝道本部 2階 研修室		
10:30								
11:00							個人面接	伝道本部 2階 研修室
11:30	集合							
12:00	受付・点検	伝道本部3階 大会議室前					アンケート	
12:30			昼食		昼食		閉会式	
13:00	開会式・記念撮影	伝道本部3階 大会議室					解散(弁当あり)	
13:30	オリエンテーション	伝道本部2階 研修室			教章について 仏教章について 仏旗について 宗派について		伝道本部 2階 研修室	
14:00	班会議		勤式作法③	門徒会館 3階				
14:30								
15:00								
15:30	教章について 仏教章について 仏旗について 宗派について	伝道本部2階 研修室			真宗教義		伝道本部 2階 研修室	
16:00								
16:30	勤式作法①	門徒会館 3階						
17:00								
17:30	仏教讃歌 音楽礼拝	門徒会館 3階	仏教教義	門徒会館 3階				
18:00					スカウトズタウン		伝道本部 2階 研修室	
18:30	移動・チェックイン							
19:00	夕食	聞法地下 レストラン	夕食	聞法地下 レストラン	夕食	聞法地下 レストラン		
19:30								
20:00	勤式作法②	聞法会館 3階研修室①	自主学習	聞法会館 3階研修室 ①	自主学習	聞法会館 3階研修室 ①		
20:30								
21:00	就寝勤行		就寝勤行		就寝勤行			
21:30	班会議・班次長会議	研修室④	班会議・班次長会議	研修室④	班会議・班次長会議	研修室④		
22:00	入浴	聞法会館	入浴	聞法会館	入浴	聞法会館		
	消灯		消灯		消灯			

※日程につきまして一部変更の可能性がありますことご了承ください。

「第7回仏教章修得のための研修会」参加願書

あなたの信仰する宗旨は何ですか (○をつけ、浄土真宗本願寺派以外は宗派名を記入する)	浄土真宗本願寺派 宗派
所属寺住職 署名認印	教区 組 寺
上記で、浄土真宗本願寺派以外の宗旨を選択された方は、下記欄にご記入ください。	
研修会終了後の教導職（浄土真宗本願寺派僧侶）予定者が <input type="checkbox"/> いる ・ <input type="checkbox"/> いない	
おられる方 <input type="checkbox"/> 教区 組 寺 名前：	

ふりがな		写 真
本人名前		
生年月日 <small>※年齢は申込時のもの</small>	昭和 ・ 平成 年 月 日生 (歳)	(上半身)
現住所 (参加許可証送付先)	〒 TEL () -	(4cm×3cm)
学校名または勤務先		学年または所属部署名
所属隊・部門	BS (県)連盟 第 団 隊	
	GS 連盟 第 団 部門	
現在の役職・級		
帰 敬 式 (○で囲む)	受式する ・ 受式済 ・ 受式しない	

保 護 者 記 入 欄

(参加者名前)	を研修会に参加させますので、よろしく願いいたします。
保護者名前	◎
本人の健康状態・その他本人に関して事務局が知っておくべき事柄（例えばアレルギー等の疾患）、または要望等があればご記入ください。	

※上記「私の信仰する宗旨」に浄土真宗本願寺派以外の宗派名をご記入された方は、本研修会が浄土真宗本願寺派の門徒を育成したいとの願いがありますことを、ご理解のうえご参加ください。

なお、保護者の方も同様にご理解のうえ、認印いただきますよう重ねてお願いいたします。

「第7回仏教章修得のための研修会」推薦書

◎所属隊隊長・所属部門リーダー 推薦書

推薦理由：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(県)連盟 第 団 隊 隊長
連盟 第 団 部 門 リーダー

名 前 _____ (印)

◎所属団団委員長 推薦書

推薦理由：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

連盟 第 団

団委員長名前 _____ (印)

第 53 回本願寺派スカウト中央研修会 開催要項

1. 趣 旨 「仏教章」を修得した者を対象とし、本願寺派スカウトとしてのさらなる自覚を促す。研修会を通じて友の輪をひろげ、お互いの生き方を確かめ合い「ちかいとおきて」「やくそくとおきて」の理解と実践をより深め、心身共に豊かな聞法者を育成することを目的とする。
2. 期 日 2013 (平成 25) 年 3 月 29 日(金)～ 3 月 31 日(日) 2 泊 3 日
3. 会 場 【研修】 浄土真宗本願寺派伝道本部
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル TEL 075-371-5181
【宿泊】 本願寺聞法会館
〒600-8357 京都市下京区堀川通花屋町上ル TEL 075-342-1122
4. 参加資格 本願寺派仏教章修得者並びに申請中(※)の者で 25 歳以下 (2013 年 3 月 29 日時点) であること。
※申請中とは、研修参加申請期限時に仏教章修得に関するすべての必要書類が、寺院活動支援部〈組織教化担当〉に提出されている状態を指します。
5. 募集人数 30 名
6. 参加費 10,000 円
7. 帰敬式冥加 受式者のみ^{*} 10,000 円 (成人) 5,000 円 (未成年)
※原則として中央研修会参加者には帰敬式を受式していただきます。
帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞^{しゅうそしんらんしょうにん}聖人^{おんまへ}の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則として本山でご門主によって執り行われ、三帰依文^{さんきえもん}を唱えて、おかみそりを受け、法名^{ほうみょう}をいただきます。
8. 申込方法 参加願書に 4 センチ×3 センチの上半身写真を添付のうえ、所定の事項を明記し、下記の書類を添え、現金書留にてお申込みください。なお、前日までに連絡がなく当日欠席された場合は、参加費の返金はできません。
【提出書類】 ①参加願書・推薦書
②レポート (下記課題について 400 字詰原稿用紙 3 枚以内)
※課題「仏教章を修得してどう変わったか、今後どのような活動をしたいか」
③「参加費」並びに「帰敬式冥加 (受式者のみ)」
9. 申込先 本願寺派スカウト指導者会 宛
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派宗務所内
寺院活動支援部〈組織教化担当〉
TEL 075-371-5181 (代表) FAX 075-351-1211
10. 締 切 2013 (平成 25) 年 3 月 8 日(金)必着のこと。
なお、締切前であっても、定員になり次第受付を締め切らせていただきますこと、予めご了承ください。

【裏面があります】

第53回本願寺派スカウト中央研修会 基本日程

時間	3月29日(金)		3月30日(土)		3月31日(日)	
5:30			起床・洗面・寝具整頓		起床・洗面・寝具整頓	
6:00						
6:30			晨朝参拝	阿弥陀堂 御影堂	晨朝参拝	阿弥陀堂 御影堂 書院
7:00						
7:30			朝食	聞法会館 地下レストラン	帰敬式	
8:00					清掃奉仕	白洲
8:30						
9:00					朝食	聞法会館 地下レストラン
9:30						
10:00					グループ研修 個人作業	伝道本部3階 会議室⑦
10:30						
11:00					全体発表会 まとめ	伝道本部3階 会議室⑦
11:30						
12:00	集合				アンケート	
12:30	受付・点検	伝道本部3階 大会議室前	真宗について(現地学習) 《比叡山等》		閉会式・記念撮影 解散(弁当あり)	伝道本部3階 大会議室
13:00	開会式	伝道本部3階 大会議室前				
13:30						
14:00	オリエンテーション	伝道本部3階 会議室⑦				
14:30	運営計画会議					
15:00						
15:30						
16:00						
16:30	真宗について(講義)	伝道本部3階 会議室⑦				
17:00						
17:30			現地学習まとめ	聞法会館3階 研修室③		
18:00						
18:30	夕食	聞法会館 地下レストラン	夕食	聞法会館 地下レストラン		
19:00						
19:30	常例布教聴聞	聞法会館1階 総会所	ちかいとおきて	聞法会館3階 研修室③		
20:00						
20:30	就寝勤行	聞法会館1階 総会所	就寝勤行	聞法会館1階 総会所		
21:00	班会議		班会議			
21:30	班次長会議		班次長会議			
21:30	入浴	聞法会館	入浴	聞法会館		
22:00	消灯		消灯			

※日程につきまして一部変更の可能性がありますことご了承ください。

12 仏前作法(仏さまの前での礼儀作法)について

1. お参りするときの良い姿勢

仏さまにお参りするときは、まず姿勢を正して、心をひきしめましょう。

坐ったときの姿勢

両足の親指をかさね、背すじをまっすぐに伸ばしてすわります。男子は、両膝の間を10センチくらい開きます。女子は、両方の膝をつけてすわりましょう。

両手は、左の手を上にして組みあわせ、膝の上に自然に置きましょう。

目は、まっすぐよりも、少し下の方(およそ3メートル前の方)を見るようにします。しかし、お話を聞くときには、その人の顔を見るようにします。つまり自然な姿がよいのです。

立っているときの姿勢

両足のかかとをつけ、からだ全体をまっすぐにして静かに立ちましょう。男子は、つま先を30度くらい開き、女子は、かるく合わせます。

目は、やはりすこし下の方(およそ9メートル前の方)を見るようにして、両腕を自然にさげます。

腰かけたときの姿勢

いましょう。机がないときには、膝の上や念珠袋の上に置き、畳の上などに直接置かないように注意しましょう。

4. 合掌・礼拝の仕方

合掌は、指をそろえて伸ばし、手のひらを静かに合わせます。両手に念珠をかけ、親指でかるくおさえます。両ひじをかるくからだにそえ、合わせた両手を、胸のまん中につけ、指先は、からだど45度の角度にします。そして仏さまのお姿を見ながら、静かにお念仏をとえます。

礼拝は、合掌の姿勢をしながら、上体をゆっくり45度くらい前にかたむけて礼をし、それから静かにはじめの姿勢にかえり、両手をそっとおろします。

お導師がおられるときには、合掌や礼拝をお導師に合わせてしましょう。

拝むとき、両手を合わせるのは、昔からインドで、仏さまや菩薩さまがたを、うやまって礼拝するときの礼儀でした。平和・尊敬の姿です。

5. 焼香の仕方

昔から、礼儀を正し、清らかな心で式などするときに、焼香する習慣がありました。仏さまにお参りするときにも、お焼香をしましょう。

椅子に深く腰かけて、からだを柔らかくまっすぐに伸ばします。男子は両膝をおよそ10センチ開き、女子はかるくつけておきましょう。両手の置き方は、坐ったときと同じです。目は少し下の方(およそ5メートル前の方)を見るようにします。

2. 仏前での正しい歩き方

内陣の扉が開いているときは、静かに歩きましょう。

また、献灯・献華・献香などで、仏さまの近くへ進むときには、左足・右足・左足と、三步進み、右足をそろえて止まります。このように静かになりかえしながら歩きます。後ろへさがるときには、右足からさがります。

仏さまにお参りするときの姿勢などは、ほかの所でも気をつけて、スカウトは、良いお手本になりましょう。

3. 念珠(珠数・数珠ともいう)の持ち方

仏さまにお参りするときは、いつも念珠を持ちましょう。左手の親指とほかの指との間にかけて持ち、ふさは下にたらしめます。

念珠や聖典は、仏さまのみ教えを聞く私たちにあって大切なものですから、特にていねいにあつか

まず、焼香卓(香炉が置いてある机)の二歩か三步前で、かるく一礼します。それから焼香卓のところまで進み出て、正しくすわります。香炉が前卓の上に置いてあることもあります。

香盒(香の入れ物)のふたをとって香盒の右はしにかけ、香を一回だけつまんで焼香し、香盒のふたをしてから合掌・礼拝をします。

礼拝が終わったら、静かに立ちあがって、そのまま二、三步下がって、かるく一礼して、もとの所へ帰ります。

注意 ア、焼香のとき、お導師の前を通るときは、一礼しましょう。

イ、焼香をするときは、りんを打ったり、香をいただいたり、何回もしないように気をつけましょう。

ウ、焼香の準備をするときは、香炉の中に炭火を入れましょう。

焼香には、ふつうはお香(粉にしてある香)を使います。

エ、線香をあげるときは、一、二本を短く折って火をつけ、香炉の中へ横にして入れましょう。

オ、立って焼香するときも、同じです。

6. 献灯の仕方

お灯かりをあげると、仏さまは、ほのかにやさしく私たちの前にいてくださることがわかります。お

学習ノート 灯かりは、輪灯かろうそくなどであげます。

輪灯

仏壇の両側につりさげである、菊のもようの、金色にかがやいているのが、輪灯です。

昔から灯火には油を使いますが、最近では電球も使われるようになりました。油をいれたお皿に、細い灯芯がつけてあります。灯芯をピンセットなどで、ふちから2・3ミリくらい引き出してから火をつけましょう。

長い間使っていると、油がねばってきます。ときどき手入れをして、新しい油にとりかえておきましょう。

ろうそく

ふつうは、白いろろうそくを使います。報恩講や年回法要などのときには、朱ろうそくにします。マッチで火をつけたあとの燃え残りは、燃えかす入れにして、火の用心をしましょう。

お灯かりを消すときには、口で吹き消さないようにしましょう。

11. 許可通知 締切後、書類審査のうえ参加者を選定し、各自に「参加許可証」を送付します。
12. 持参品 仏教章、念珠、式章（帰敬式受式済者）、参加許可証、健康状況書、スカウト聖典（本願寺出版社発行）、本願寺派スカウトハンドブック（本願寺出版社発行）、スカウトソング集（日本連盟発行のもの）、筆記用具、ソーイングセット、保険証（コピー可）、活動できる服装・靴、寝巻き、雨具、雑巾（1枚）、その他研修に必要なもの
※スカウト聖典 840 円は「本願寺出版社」にて購入いただけますので、あらかじめご準備ください。
※本願寺派スカウトハンドブックは、改訂にあたり販売終了いたしておりますため、お持ちでない方は、事務局 [TEL 075-371-5181 (代表)] までご相談ください。
※ゲーム機、i-pod 等の音楽プレーヤー、お菓子、雑誌類は持ち込み禁止としますのでご了承ください。
※研修会中は、携帯電話の使用ができません（受付時にお預かりさせていただきます）。
13. 服装 正服・正帽 着用
※アクセサリ（ピアス、指輪等）は着用不可。つけてこられた場合ははずしていただきます。
※記章の着用、身だしなみにつきましても、所属の指導者の充分なる事前の指導をお願いいたします。
14. 集合解散場所 浄土真宗本願寺派伝道本部（旧宗務総合庁舎）

*留意事項

- ◎仏前作法（別紙）を読んで、正しい作法を身につけておくこと。
- ◎スカウト聖典を読み「浄土真宗の生活信条」を暗唱できるようにしておくこと。
- ◎食前・食後のことばを暗唱できるようにしておくこと。

仏教章修得に際してご指導いただきました所属団の指導者、教導職の方ありがとうございました。
今一度上記留意事項につきましてご確認頂き、研修会に参加させていただければ幸いです。ご協力よろしくお願いたします。

以上

「第53回本願寺派スカウト中央研修会」参加願書

所属寺 (教導者所属寺)	教 区 組 寺	写 真 (上半身) (4cm×3cm)
ふりがな		
本人名前		
生年月日 ※年齢は申込時のもの	昭和・平成 年 月 日生 (歳)	
現住所 (参加許可証送付先)	〒 _____ TEL() - _____	
学校名または勤務先		学年または所属部署名
所属隊・部門	BS (県)連盟 第 団 隊	
	GS 連盟 第 団 部門	
現在の役職・級		
仏教章(○で囲む)	修得済 (No.)	仏教章申請中
帰敬式 (○で囲む)	受式する ・ 受式済 ・ 得度予定	
所属寺住職承認(受式の場合)		住職名前 _____ (印)
保 護 者 記 入 欄		
(参加者名前) _____ を研修会に参加させますので、よろしくお願いいたします。		
保護者名前 _____ (印)		
本人の健康状態・その他本人に関して事務局が知っておくべき事柄(例えばアレルギー等の疾患)、または要望等があればご記入下さい。		

「第53回本願寺派スカウト中央研修会」推薦書

◎所属隊隊長・所属部門リーダー 推薦書

理由：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

(県)連盟

隊 隊長

第 団

連盟

部門 正リーダー

名前 _____ (印)

◎ 教導者推薦書

理由：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

教区

組

寺

役職 _____ 名前 _____ (印)